

いいだ人形劇フェスタ 2023 県地区公演

8/3~6

みんなが楽しい人形劇

明星保育園公演

園長 宮下順一

4年ぶりに開催されたいいだ人形劇フェスタ、子どもたちは朝からワクワクして待っていました。最初の劇団ダブダブさんによるカエルのケロちゃんの前座芸で、子どもたちは大笑いしてすっかり劇の世界に引き込まれました。「三枚のお札」の劇では「あっちに行つた」「ちっちゃい」と身を乗り出して叫んでいました。

2番目の劇団モグラーズさんによる「みんなに乗ればハッピーハッピー」では登場する動物を見て「かわいい」と笑顔になりました。
来場者数約270名、みんなが楽しめた人形劇でした。



明星保育園



「三まいのおふだ」公演



子ども達の笑顔



上山区民センター

県地区公演 フォトギャラリー



下山区民会館



プロジェクションマッピング
(県文化センター)



名古熊公民館



一色諏訪神社

県地区縦断駅伝大会 結果

【総合順位】

- 1 位 下山分館
- 2 位 上山分館
- 3 位 東県分館

【分館の部】

優勝 下山分館

【一般の部】

優勝 ★市役所県会★



子どもたちは、竹細工・五平餅作り・屋上での星空観察・県公民館に宿泊など、派手さは無いですが珍しい体験ができたのではと思います。支部や学年をこえて新しい繋がりができ、子どもたちの素敵な笑顔をたくさん見



7月28〜29日の1泊2日、かなえっこどつきどつきスクールを開催しました。コロナ禍以前は、有志の保護者が中心となり実施していたようですが、今年度は初めて壮年団（本団）の事業として、本団役員がスタッフとなりました。

子どもたちは、竹細工・五平餅作り・屋上での星空観察・県公民館に宿泊など、派手さは無いですが珍しい体験ができたのではと思います。支部や学年をこえて新しい繋がりができ、子どもたちの素敵な笑顔をたくさん見

かなえっこどつきどつきスクール

県壮年団長 小西 盛博





開会前の人形劇フェス

8月6日に4年ぶりとなる名古屋夏祭りが開催された。コロナ感染対策を講じながらの時短開催となったが、大勢の区民の参加があり、盛況となった。

名古屋
4年ぶりの笑タイム
一致団結し更なる飛躍へ
広報委員 近藤圭三



コロナ5類移行に
ともない、全地区
夏祭り開催される。

タ公演に始まり、スリッパ飛ばし、鼎みつば保育園によるダンス、若獅子披露、バンドやカラオケ、伝統芸能の発表、ビンゴ大会など、多彩な出演で盛り上がった。その他にもコロナ禍前と同様な屋台コーナーや消防車展示、囲碁・将棋コーナーもあり大いに賑わった。昨年開封したタイムカプセル展示も行われた。
あいにくの小雨により、こども花火は持ち帰りとなったが、最後は名古屋の伝統の仕掛け花火で締めくくられた。

一色
コロナ後の
新しい夏祭り

一色分館長
西村伸吾



新型コロナウイルスの規制が緩和される中、区民夏祭りを次の3つの方針の下企画した。①子ども達の楽し

しい夏の思い出を目指す。②コロナ禍以前に単純に戻すのではなく、自分達でできる新しい夏祭りの形を創る。③後片付けも含め、18時までを終了する。各種子ども向け縁日、

諸団体による屋台、地元事業所協賛による大抽選会等、多くの関係者のご協力の下、4年振りの夏祭りは大盛況であった。18時、まだ明るい内に私達の夏祭りは幕を閉じた。

下山
下山納涼祭

副分館長
元島宏明

「区民のみならず盛夏をみんなで楽しみたい」という目標に4年ぶりに納涼祭を開催することができました。午後4時よりPTAによるビンゴゲーム大会、親子太鼓の演奏、ポミエ新体操、フラダンスの演技、三味線の演奏、日本舞踏の演舞など多くの参加団体の催しものにより、盛り上がることができました。祭りの最後



はPTAの花火大会で締めくくり、久しぶりに多くの子ども達の楽しむ姿も見ることができました。

西郷
西郷区夏祭り

西郷区長
関口 明



起源は、商工会を中心にして、今年で40年位になります。途中、商工会の皆

さんの高齢化に伴い存続が危ぶまれる事態に発展し、しばらく開催ができませんでしたが、若者を中心として復活しました。名前は、夏祭りとして区民のふれあいの場所として開催して来ましたが、ここ数年、コロナにより中止していましたが久

方ぶりに老若男女が集まり、楽しい夏の夜の思い出となり大成功で終えることができました。感謝。

上山
夏がきたー!!

上山一区民

久しぶりに開催された上山区納涼祭に、わくわくした気持ちで参加しました。区民センターいっぱいになり人が溢れていて、お祭りならではの屋台の美味しそうな匂いが広がっていました。ダンスの発表や、ビンゴ大会が行われ、コロナ禍以前の賑やかな納涼祭が戻ってきた。地域の小さい子どもからお年寄りの方まで、皆の笑顔でいっぱいでした。



た。私も、五平餅や焼きそばなど食べました。「夏がきたー!!」と感じた一日でした。

熊谷五十一さん

一色 熊谷五十一さん(81歳)



今回のかなえびとは、一色獅子舞の発展に長らく寄与された熊谷五十一(いそかず)さん取材しました。

長年(株)平和時計製作所にお勤めになられ、腕時計の組立を担当する傍ら、時計修理士1級などの免許を取得。生産ラインの設計を独学で学び、組立合理化(省力化)の開発を担当し、当時としてはまだ珍しいロボットを使用したラインを構築。その実績が評価されて、(株)シチズン時計本社の合理化プロジェクトメンバーに outward され、時計の生産性向上に貢献されました。

同社を退職後は、知人に頼まれ再就職先の精密工場では組立ラインの改善や、配管設備・木工・溶接・旋盤作業など数多くの仕事を経験されました。

また、一色に居を構えた昭和43年以降、獅子舞保存会に所属され、長年使用していた獅子屋台の車輪を木製からスクーターのタイヤに改良。その後の屋台更新の際に設計を担当するなど、保存会から大変喜ばれたそうです。その熱意は同居している長男夫婦、孫世代に脈々と受け継がれています。

その後は「一色獅子舞保存会」、「一色竹宵の会」会長を務められ、現在は、シルバー人材センターで庭師の仕事の傍ら、「一色高齢者クラブ」の会長と忙しい日々です。季節になると山菜やきのご採りに、休日は奥さんと温泉巡りや家庭菜園など充実した毎日を過ごされています。

熊谷さんは、手先が器用で地域から、とても頼られる存在です。これからもお元気でお過ごしください。

(文責 壬生竜洋、写真 櫻井勝司)

かなえびと

No.52

ウイズコロナからアフターコロナへ転換した中で、今年の夏は各地区夏まつりはじめ、人形劇フェスタ地区公演などが開催されました。開催されたこの事業、行事も「4年ぶり」「3年ぶり」といった言葉が枕詞のように使われる気がします。この「〜ぶり」という言葉は、接尾語として一般的に時日がたって、

編集後記

今私がかんばっていることは、小学校の合唱団フラーエンジェルズです。毎週、火曜日と水曜日、金曜日の朝に練習しています。私は、歌をうたうことが好きなので、いつも楽しく練習しています。取り組んでいる歌は、



キレイな歌声

東 下明香さん(4年生)



No.126

その前の状態が再び起きる時に使われるようです。4年3年といった時日がたつた今、各地区では改めて地域の皆さんが参加し、親睦を深めることができる公民館事業を再開し始めたと思います。夏まつりや人形劇での子ども達、大人の皆さんの笑顔が印象的でした。今後も地域の皆さんの笑顔を館報にて多く紹介できればと思います。(M・K)

「くろねこのタンゴ」や「いのちの歌」などです。9月にある長野県フェスティバルという大きな発表会に、私は初めて出るので、緊張しないで笑顔で歌いたいです。気持ち一つにすることが大切だと思っているので、みんなももっと仲良くなりたいです。 鼎ふれあい文化祭でも歌うので、たくさんの人に聞いてもらいたいです。